

授業科目名	仏法Ⅱ	選択	開講年次	3	単位数	2
科目区分	専門科目					
サブタイトル	各論－フランス公法・ヨーロッパ法との関係	担当者	西連寺 隆行			
講義概要	<p>【概要】 「仏法Ⅰ」の講義をふまえて本講義では、フランス法の法源、各法分野（憲法・行政法）についての紹介を行う。また、近年ヨーロッパ諸国では国内法に対するヨーロッパ法（とりわけEU法・欧州人権条約）の影響が顕著である点に鑑み、フランス法とヨーロッパ法の関係についても検討していく予定である。</p> <p>【到達目標】 フランス法の基礎知識を修得し、その特徴を的確に説明できるようになることを目標とする。</p>					
履修条件	「仏法Ⅰ」の講義内容を前提に講義を進めるので、「仏法Ⅰ」と併せて受講することが望ましい。					
教科書・参考書	<p>【教科書】 特に指定しない</p> <p>【参考書】 滝澤正『フランス法〔第4版〕』（2010年、三省堂）</p>					
授業回数	内容					
1	法源（1）					
2	法源（2）					
3	憲法（1）					
4	憲法（2）					
5	憲法（3）					
6	憲法（4）					
7	憲法（5）					
8	行政法（1）					
9	行政法（2）					
10	行政法（3）					
11	行政法（4）					
12	フランス法とヨーロッパ法（1）					
13	フランス法とヨーロッパ法（2）					
14	フランス法とヨーロッパ法（3）					
15	フランス法とヨーロッパ法（4）					
評価方法	小テスト・定期試験により評価する。					
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解し、簡潔かつ論理的に説明できた者については「A」とし、その表現に不適切な点がある、または重要事項の記述に一部欠けるところがある者についてはその程度に応じて「B」または「C」とする。単元の内容についての理解自体が不十分な者についてはその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	フランス憲法の収録された憲法集を持参すること。初回または2回目の講義に必ず出席し、成績評価方法を確認した上で受講すること。					